

令和6年6月28日
小樽開発建設部

「石狩湾新港 みなと見学会」を開催

小樽開発建設部では、港の役割を学び、港を身近に感じてもらうことを目的に、石狩市内の小学校を対象に「石狩湾新港 みなと見学会」を開催します。

石狩湾新港は、昭和48年から整備が開始され、昭和57年の第1船入港以来、札幌市を中心とした道央圏と道外、そして海外とを結ぶ海の玄関口として、重要な役割を担っています。

今回の見学会では、貨物輸送の安定的な供給に必要となる防波堤や岸壁などの港湾施設について学んでいただくとともに、近年、港内ではLNG輸入基地の運転が開始され、LNG火力発電所が稼働し、更には、洋上風力発電施設の運転が開始されており、港湾業務艇「みずなぎ」からこれらの施設を見学していただきます。

記

1 開催日程及び参加者

7月4日（木）9:10～11:50 紅南小学校・生振小学校 約70名（3航海）
7月5日（金）9:10～11:50 花川小学校・石狩八幡小学校 約70名（2航海）

2 内容

- ① 港の役割について、パネルを使って説明
- ② 港湾業務艇「みずなぎ」で石狩湾新港内を見学（各航海30分程度、詳細は別紙1参照）

3 その他

取材を希望される場合は、取材申込書（別紙2）にてお申し込みください。
海上見学のため、気象・海象状況等により中止する場合があります。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

築港課 上席専門官

はせがわ けいいち
長谷川 恵一（電話 0134-23-5214）

小樽港湾事務所 副所長

しまだ まさのり
島田 正徳（電話 0134-23-6131）

（小樽開発建設部ホームページ）

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



石狩湾新港みなと見学会 見学経路図

